

実践事例 中学部

『ものさしや定規の使い方のきまりを考え、数字や目盛りの数、長さに着目して、0cm5mmを測ろう』

1. 生徒の実態と望む姿

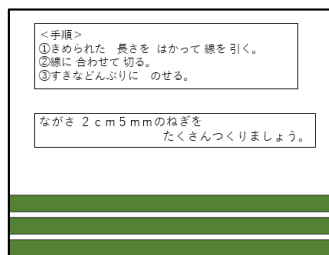
- ・中学部2年生 男子
- ・わからないと感じたことに関して非常に苦手意識が強く、一度「無理」「難しい」という気持ちを持つと、気持ちを切り替えにくい。
- ・6cmの線を測る際、ものさしの端を起点に、線の始点に合わせて、6cmを測る。定規を使う際は、線の視点に目盛りの「0」があていないことがあった。
- ・5cm5mmの線が書かれたプリントで、「長さを測ってください」と問われ、ものさしのはしを線の起点にあてた後、「わからない」と言う。
- ・「cmは数字を見て、mmは目盛りを数えてみて」という教師のことばかけを聞いて、「無理」「わからない」と言う。
- ・ものさしの使い方を確かめる際、「はじめにすることは？」と教師に聞かれ、「まっすぐに」と答える。

そこで本題材では以下の望む姿を設定した。

→ものさしや定規の使い方のきまりから、数字や目盛りの数、長さなどに着目し、0cm5mmの長さを読みれるようになってほしい

2. 教材の概要 教材：『めざせ！ものさしマスター！』

- ・プリントのイラストを、指定された○cm△mmの長さに測る。
- その後、正確に測ることができたものを切って、台紙に張り付けていく。毎時間、ご褒美カード(回ごとに階級が上がる)にシールを貼り、学習する意欲を持つことができるようにする。



★めざせ！ものさしマスター！
～どんなふうに、ねぎを いれよう～



3. 授業のポイント

ポイント1 ものさしや定規の使い方から、cmとmmに着目して長さを測るための教具の工夫

【ものさしや定規の、数字や目盛りの数や長さに着目できるようにするためにはどうすればよいか】

- ・目盛りが示す数字(cm)と、mmを整理するために、それぞれの読み取り方を示したプリントを使用してcmとmmの読み取り方を確認する。

- ・目盛りが読み取りやすい定規を準備する。



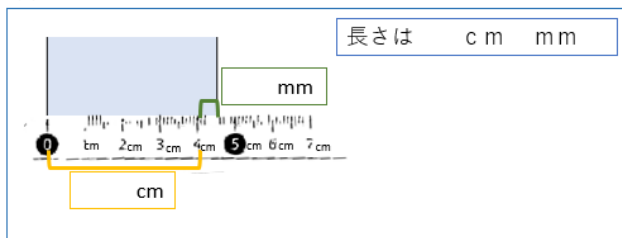
↑レイメイ藤井 見やすい白黒定規

★ポイント★

- ①cmをよみとる
- ②mmをよみとる

- ・mmは、細かいめもりを数えるね
- ・少し長いめもりは、5mmを表しているね

★○cm△mmをよみとろう！



仕方がわかって、
自分ができる

授業構想チェックシート 内容チェック 3. 学習環境:教具について③⑤⑥ 内容チェック 3. 学習環境:教具について⑩

ポイント2 正確に長さを測るために大切なことを考え、定規やものさしの「0」と測りたいものの始点をぴったり合わせられるようにするための働きかけの工夫

【ものさしや定規の「0」と、測りたいものの始点をぴったり合わせられるようにするために、どうしたらよいか？】

- ・ものさしの使い方のルールを毎回黒板に掲示する。
- ・ものさしの使い方の手順を、生徒が考えて取り組めるよう、生徒にしてみるようことばをかける。
- ・答え合わせの際、
 - ①0と始点がぴったり合っているね。
 - ②まっすぐ合わせられているね。
 - ③はしからはしまで測ることができているね。
 など、①～③の手順に沿った認めのことばをかける。

定着につながる

ものさしの使い方のルール

- ①はし(0)をぴったり
- ②まっすぐに
- ③はしからはしまで

授業構想チェックシート 意欲チェック 7. 働きかけについて⑨⑩